

LIONG NEWS





ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区ガバナー

L 増田 正明

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区会員の皆様へ

メンバーの皆さま、新年明けましておめでとうございます。どうぞございます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう心よりご祈念を申し上げます。

今期は花の330-A復活を目指して、会員増強、LCIFに力を入れております。

引き続きご協力の程お願い申し上げます。

さて、今年の四月二十二日の年次大会は330-A地区に相應しい格式高い年次大会にしたいと思っております。つきましては、多くのメンバーの皆様のご参加をお待ちしております。

そして、年次大会に前後して、ラジオ及びテレビでライオンズクラブの宣伝をしたいと思っております。今までのライオンズクラブのイメージ或いは名声を上げるために実施する予定でございます。

最後に会員増強に向けて一人でも多くご加入して頂くことを祈念し新年の挨拶と代えさせていただきます。



世代を越えた、
これからの仲間の集め方



学生支部の設立と現在の活動報告

会員増強は、ライオンズクラブ（以下 LC）にとって永遠のテーマでありクラブ運営の継続、アクティビティの開催等 LC が地域社会で存在意義を発信し「希望」を届け続けるには、新しい仲間すなわち若い世代との連携、交流が不可欠だ。このような状況で昨年度、メンバーの積極的な働きかけにより東京新都心 LC のシンバ学生支部、東京白門 LC の白獅子学生支部が活動を始めた。今回、白獅子支部の設立にかかわった中央大学の佐藤信行副学長と当日学内での献血呼びかけに参加していたに学生さん2名にインタビューし、学生支部の実情に迫った。

（取材 2022.12.9 中央大学八王子キャンパス）

以下2部構成で、前半は学生支部の大石優花さん・永川 凛さんへ入会のきっかけと LC への要望を、後半は設立のプロセスを副学長へそれぞれ伺った。

■学生支部インタビュー



は学生間のつながりしか無かったですが、OB・OGの方々と縦のつながりが出来たのが嬉しいです。

L赤尾 LCのイメージや知ったきっかけを教えてください。また、メンバーになろうと決めた理由は何ですか。

大石さん LCの存在は知りませんでした。佐藤副学長から案内があつて初めて知りました。ライオンズクラブって何？という感じで、学生の間ではまだLCに対する認知度が低いのかなと思います。なので、こんな組織があると言うことを知ってもらうことから始めるのが大事だと思います。LCを知ったあとでこんな活動をしているというのが分かれば、一緒にやりましょうと誘いやすくなると思います。

L赤尾 もう少し社会的に認知されれば学生も活動し易いですね。

大石さん 私の場合は、4年生から可能なら入って欲しいと言われたのが、直接の入会の動機です。

永川さん LCに対するイメージは有りませんが、両親に聞いたらLCのことはよく知っていました。祖父母が役所勤めだったので、両親も地域の活動に参加して

L赤尾 ライオンズクラブ（以下LC）の学生支部メンバーになつていかがですか。

大石さん 献血活動を始めて、血液を必要としている人に対して少しでも役に立っているのかなと思いました。中央大学応援団チアリーディング部に入っていて、その活動自体がそれぞれの団体の勝利に貢献していることも一つの奉仕活動と捉えています。対象が中央大学だけに限られてしまいが、LCの献血活動は、他の人にも役立つのが良いと思いました。

永川さん LCに入会してみて、これまで

いたからだと思います。

L赤尾 地域活動に参加していると清掃活動等を通して地域とのつながりが出来ますね。

大石さん ボランティア活動にはもともと興味がありましたが、部活をしていたので活動機会がありませんでした。そんな矢先にライオンズクラブから声が掛かったので、ちようど良かったです。



L赤尾 LC活動について自分の地域や高校時代の友達に紹介していますか。

永川さん 白門LCのOB・OGの方々と食事を一緒したといった話を、部活以外の人たちにもしました。

L赤尾 その時に一緒に活動しましょうかという話しはしませんでしたか。

永川さん そこまでは言いませんでした。

L赤尾 壁が有りますか。

大石さん・永川さん もともとチアの仲間が一緒に入ることになりましたので、入会には壁はありませんでした。

L赤尾 こんなふうにしたらLCのことを言いやすくなるってことは有りますか。

大石さん 佐藤副学長から言われて初めて知ったので、LCのことは認識がありませんでしたが、これからはこんな活動をしているとか言いやすいと思います。

L赤尾 今後、やってみたいアクティビティはありますか。

永川さん いろんな方面でのボランティア活動に参加してみたいと思います。ボランティア活動に対して興味はありましたが、今まで自分から行動しようとは思っていませんでしたので、LCでボランティアの体験が出来るのは良いと思いました。

大石さん 私は民間の就活と公務員の勉強もしているので、W就活をしています。限られた特定の人ではなく、多くの人に関わり、携われる仕事に就きたいと思います。そうしたことあつて、ボランティア活動についても、今、対象となる人を定めず、社会人になつても続けていきたいです。

L赤尾 志が高いですね。ボランティア活動をしていると行政との接点が出来てきます。例えば東日本大震災時、被災地の方々が上京した時にLCではいろいろなボランティア活動を沢山支援しました。

L赤尾 最後にライオンズクラブに要望があればお聞かせ下さい。

大石さん まずLCのことを知ってもらうことが大事で、存在を知ってもらった後に、よく活動内容を説明できるのだと思います。

永川さん LCの認知度を上げて、LCのハードルをもっと低くするような活動が必要だと思います。

L茂岡 今日はお忙しいところ有難うございました。今日のお二方のお話をLCの中でも広めていきたいと思えます。



■ 佐藤信行副学長インタビュー



学生支部にみるライオンズクラブの未来次に、330・A地区で学生支部を初期に立ち上げた経緯とその可能性について、中央大学の佐藤信行副学長にお話を伺いました。

L赤尾 2011年の東日本大震災以降、中央大学が推進してきたボランティアセンターについて、お話しいただけますでしょうか。

佐藤副学長 本学は、1978年にお茶の水から多摩キャンパスへ移転してきた時から、地域コミュニティとの交流を奨励、推

進してきました。学生も自主的に活動し、地域の子ども達との遊びや学習サポートなどをはじめ、各種のボランティア活動を展開するサークルが複数生まれ、地域に根づいてきました。また、2011年の東日本大震災直後には、各所で労力ボランティア（がれき整理、家屋の清掃）に、多くの学生が参加しました。ただ、被災地ニーズは時とともに変化してきます。コミュニティ支援や学習支援等へのニーズ変化に対して、大学として向きあい、継続的に支援活動をするために、2013年に「ボランティアステーション」（2014年からボランティアセンター）を立ち上げました。「一緒に遊び、学習してくれる、お兄さん、お姉さん的なスタンス」での被災地訪問支援等、様々な活動を展開しています。※

L赤尾 地域社会への貢献は学生にどのような影響を与えましたか。

佐藤副学長 ボランティアは学生が自主的に考え、行動することが重要です。学部から大学院にかけて18歳〜24歳くらいの世代は体力もあり、労力奉仕ができる時間もたくさんあります。その時期に、地域への貢献活動として様々なボランティア事業に参加し、問題点を整理して次への課題を見出し、改善しながら前へ進むプロセスを

学べるということは、学生達にとって最高の体験だと思います。今後も、学生自身が見出し、新たな活動を提案してくることを楽しみにしています。



L赤尾 白門LCと大学の連携や学生支部の立ち上げについて教えてください。

佐藤副学長 2021、22年の中井ガバナーが、学生支部を是非作りたいと本学を訪問され、その熱に伝えようと、私もメンバーである東京白門LC内で協議しました。課題となったのは、既に活発に行われている学生ボランティア活動との関係整理でしたが、たまたま私が応援団部長であることから、神宮球場や各地のスポーツ応援でOBOGや一般市民との接点が多い応援団の特性を活かした活動ができないかと考えました。実際、学生支部設立直後から、学生は、校歌や応援歌などが掲載されたチラシに「骨髓バンク登録のお願い」を入れて観客へ配布する活動をはじめました。学生支部設立に際しては、まず、約100名いる応援団員に向けて募集をかけました。ただ、体育会系の組織にありがちな上意下達的な雰囲気や無理やり参加してもらおうのは、ボランティア精神に反しますから、あくまでも自主的な参加を促しました。内心小規模にスタートできればと思っていたのですが、ふたを開けてみると30名が手を挙げてくれ、何度も参加の意思確認をしたほどでした。彼らのニーズを聞くと「仲間へ向けた大学スポーツ競技の応援活動に加えて、一回り大きな応援・社会に直接役に

立つ活動を少しでもやってみたい」というコメントが多くありました。学生支部として、自分たちの特性を活かし、無理なく継続的に誇りをもって活動できるスピリッツを伝承してもらいたいと思っています。

L赤尾 今後、社会貢献で注目しているテーマはありますか。また、学生支部の作り方のアドバイスや意義があれば改めて教えてください。

佐藤副学長 今後のテーマについては、私が述べるよりも、これからの若い世代、地域で活躍している方が一番把握していると思います。学生支部は、まずは身近なコミュニケーション（例えば応援団や核となるサークル）からはじめ、少しずつ横への展開、広がり（他の部活やサークル仲間へ声かけ）を考え、課題を発見していけばよいと思います。併せて、自信を持って仲間を誘えるように、LCのPRに力を入れてもらいたいですね。また、LCは国際的な評価も高く、シニア層がメンバーの多くを占めており、財政力や地域で培った人的ネットワークには注目するものがあります。これからは、若い世代の活動にそれらを活かすよう、応援的な立場での活動へも力を注ぐことも良いのではと考えています。令和になって世代間の壁を超える行動力や情報量をもつ若い世代

の学生支部を多く作っていくことは、大変意義があると思います。

佐藤信行副学長ありがとうございます。前期第6号地区ニュース（2022年6月発行）では、東京新都心LCの学生支部であるシンバ支部のインタビューの様子も掲載しています。地元にある大学、或いはご自身の出身大学に声をかけ、自分たちのクラブにも学生支部が作れないか検討してみたいかがでしょうか。

編集渉外 L茂岡幹弥
企画インタビュー L赤尾嘉晃



※ <https://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/>

Club Activity

2022.10.04

地域に根ざしたアクティビティ

東京新橋 LC



<https://330a.jp/club/20221030-2.html>

10月4日(火)東京新橋 LC は地元新橋にある「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」「障害者厚生施設」の3つの機能を盛込む複合施設「福祉プラザさくら川」へ折りたたみ式会議テーブル2台を寄贈しました。当クラブでは2007年から16年間に渡り、お祭り用の提灯、ピアノ移動台車、車椅子やAED等々、利用者や職員の方が使える物品の協賛を行ってきましたが、コロナ禍の3年間はコロナ対策品の寄贈となりました。久しぶりに消耗品でないものを寄贈できました。この会議テーブルによって面会や対話が多くなり、ご利用者の皆様に喜んで頂けると嬉しいです。



2022.10.08・09

みなと区民まつり (チャリティ・バザー報告)

東京新橋 LC



<https://330a.jp/club/20221030-1.html>

10月8日(土)、9日(日)に芝公園一帯で開催された「みなと区民まつり」において、東京新橋 LC はチャリティ・バザーを開催しました。メンバー提供の海苔やタンブラー、友好関係にある長岡福祉協会が運営する就労移行支援事業を営む野いちご工房から提供をいただいたドーナッツ等を販売し、来場者の皆様から好評をいただきました。収益金はスペシャルオリンピックス日本に寄贈し、障害者スポーツの支援に役立てられる予定です。コロナや台風の影響で2018年以來の4年ぶりの開催になりましたが、多数の来場者をお迎えすることができました。



2022.10.08

国際交流縁日屋台パーティ

東京武蔵野 LC



<https://330a.jp/club/202211128-1.html>

10月8日(土)東京武蔵野 LC は3年ぶりの「国際交流支援」イベントとして、亜細亜大学・国際基督教大学・武蔵野大学の各大学留学生60名に加え、特別にウクライナからの避難者の方々をお招きし、当クラブメンバーの自宅庭に於いて交流会を行いました。人間としての心の豊かさを忘れないためにも、人と人との交流は大切です。交流会では、「縁日」をテーマに、焼きそば・綿飴・射的・輪投げ等の屋台を楽しんで頂きました。また剣道のお試し体験や、葛飾北斎画の扇子のお土産等、日本文化に触れながらの笑顔あふれる交流会となりました。



2022.10.13

港区立青山小学校 薬物乱用防止教室

東京ドリーム LC



<https://330a.jp/club/20221031-2.html>

10月13日(木)東京ドリーム LC は港区立青山小学校において薬物乱用防止教室を開催しました。東京ドリーム LC 殆どのメンバーは薬物乱用防止講座の認定講師の資格を持っています。今回の講師はL井熊英俊が行いました。L榎本英樹会長も加わり、工夫された講習となりました。今後も、どんどん新しい講師が経験を積めるよう、たくさんのお機会がいただけることを願っています。



Club Activity

2022.10.16

練馬祭り「薬物防止の啓発活動」

東京マリア LC



<https://330a.jp/club/20221104-2.html>

7R3Z は「第 45 回練馬まつり」にて「薬物乱用防止の啓発活動」を実施しました。当クラブは啓発リーフレットの配布に努めました。会場は、練馬の名産品、地方物産や飲食等の各種出展をはじめ、ダンスや音楽演奏のパフォーマンスなどで賑わいました。10月のクラブ例会の報告会では「薬物はダメ、断る勇気を持つ」というその前に「どうして、何が、そうさせてしまったのか」という部分に焦点を当て、深く勉強していかなければならないという結論に至りました。今後はクラブ内勉強会も積極的に計画していく予定です。



2022.10.20

100% 出席率達成

第 18 回チャーターナイト



東京吉祥寺 LC <https://330a.jp/club/20221028-1.html>

10月20日(木)東京吉祥寺 LC は第 18 回チャーターナイト例会を開催いたしました。12R RCP L 伊藤様をはじめ、多くの御来賓、ゲストの皆様にご参加いただきました。今回は 坂口会長の大きな目標であった。「メンバーの 100% 出席」も見事に達成し、素晴らしい演奏のアトラクションもあり、充実した例会となりました。



2022.10.22

献血アクティビティ報告

東京カレー LC



<https://330a.jp/club/20221024-2.html>

2022年10月22日(土)東急武蔵小山駅前ロータリーにて今期初めての献血奉仕活動を行いました。クラブメンバー4名が集合し、ボードをもって献血の呼びかけ、お礼としてのレトルトカレーやハヤシライス・ウェットティッシュと共にライオン誌をお渡しするのがメインの活動です。午前中は申込者が少なく20人弱でちょっと心配しましたが、午後の部からは受付待ちが出るほどでした。午後からは人の流れも多くなり呼びかけにも勢いがつきました。最後に受付された方に記念品を渡して17時終了。献血申込者59名 献血者51名でした。



2022.10.22

バット博士記念ホーム園児

ディズニー招待



東京新世紀 LC <https://330a.jp/club/20221104-3.html>

10月22日(土)東京新世紀 LC はバット博士記念ホーム園児総勢 43 名を大型バスをチャーターして東京ディズニーランドに招待し交流会を行いました。当日は天候にも恵まれ、ハロウィンイベントなども重なり、ディズニーランドに行く事が初めての園児が多く「良い思い出になりました。」と御礼のお言葉を多数頂きました。第二副地区ガバナーはじめ他クラブの方々より多くのドネーション、協賛金を頂いたお陰でアクティビティを行えました事を感謝申し上げます。



Club Activity

2022.10.23

東京シティライオンズクラブの森 環境保全活動



東京シティ LC <https://330a.jp/club/20221024-1.html>

10月23日東京シティライオンズクラブの森環境保全活動を12名で行いました。前回チェーンソーで半割りした丸太でベンチを作る作業に取り掛かりました。

座面と土台の噛み合う部分が安定するよう丸ノコで半球状に削り、腐らないように双方をバーナーで焼きます。電動カンナでミリ単位の調整をしながら何度も何度も表面を削り美しい木目のベンチの試作品が3基完成しました。11月27日には環境保全委員会和崎委員長ら17名が参加して、落ち葉集めや下草刈りとカンナかけや木工保護剤塗りを行いました。



2022.10.27

薬物乱用防止教室



東京調布 LC

<https://330a.jp/club/20221029-1.html>

10月27日調布市内の小中学校を巡って開催している薬物乱用防止教室、今回は第三中学校を訪問しました。2年生6クラス232名が参加し、熱心に耳を傾けてくれた生徒たちに「ダメ。ゼッタイ。」を強く訴えました。続いてには11月4日調布市立第七中学校で1年生5クラス142名に対し、また、12月15日には調布中学校2年生5クラスと支援学級1クラス合計約200名を対象に薬物乱用の恐ろしさを訴えました。中学生には小学生対象とは違ったアプローチで薬物乱用の恐ろしさを訴えるように工夫しています。



2022.10.29

ふるさと清掃運動会



東京一ツ橋 LC

<https://330a.jp/club/20221029-2.html>

10月29日(土)東京一ツ橋 LC はふるさと清掃運動会に参加して、荒川河川敷の清掃活動に取り組みました。「ふるさと清掃運動会」は2007年にスタートし、2022年で16年目を迎えた同活動の参加者はこれまでに約27万人。今年は、個人、企業も参加し160名の参加者で、たくさんのゴミ拾いをしてきました。河川敷の清掃で心の洗濯もできました。



2022.10.30

マクドナルドハウス支援



東京紀尾井町 LC すずらん支部

<https://330a.jp/club/20221031-1.html>

世田谷にあるマクドナルドハウスには、全国から難病の子供たちが治療の為に入院していて、その保護者の方々が遠方から面会に訪れた時の為の施設です。

東京紀尾井町 LC すずらん支部では、結成以来、オープンハウスの協力やイベントでの売上金寄付等を通じ支援しています。近年コロナ禍により支援の形が変わらざるを得ませんでしたが、今回はハロウィンに合わせて自転車とゴミストッカーを届け、子供達にはお菓子のプレゼントを致しました。



Club Activity

2022.11.03

第49回町田市障害者スポーツ大会

東京町田 LC



<https://330a.jp/club/20221108-1.html>

11月3日文化の日に町田市主催の第49回町田市障害者スポーツ大会が町田市成瀬総合体育館で開催され、約500名の参加者がありました。東京町田 LC は第1回より協力団体として参加致しております。東京町田 LC の所有する御神輿が午後の部一番で登場し、館内を何度も何度も練り歩き、参加者の喜びの声が体育館中に響き渡り、盛り上がった楽しいひと時になりました。

来年は節目の50周年、私どもクラブも更なる地域と密着した奉仕活動をしてまいります。



2022.11.06

第1回チャリティゴルフ

すずらん支部紀尾井町 LC



<https://330a.jp/club/20221107-2.html>

すずらん支部として初めてのチャリティゴルフコンペを行いました。集まった基金は、Donald's McDonald's House 世田谷の子供達へのクリスマスプレゼントに使用します。今回は、結成後初めての主催という事で、プレコンペ（少数で体験的な）として、開催企画いたしました。好天に恵まれ、支部メンバー・友好メンバーとも和やかに交流を深めることができました。時機を見て規模を広げ、皆様のご協力を仰ぐ時が来ると思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。



2022.11.03

あおぞら子供食堂

東京けやき LC



<https://330a.jp/club/20221115-1.html>

荒川沿いの株式会社オフセット岩村の屋外駐車場にて、あおぞら子供食堂をオープンしました。

地域の子供と保護者45名が、東京けやき LC のメンバーとお肉やマッシュマロのバーベキュー。

お腹が一杯になった後には、子供たちとのビンゴゲーム、保護者の皆さんとは、じゃんけん大会で大いに賑わいました。閉店後の見送りでは、子供たちの歓声と笑顔、そして川沿いを流れるそよ風が、メンバー達を癒してくれた小春日和の1日でした。



2022.11.09

第35回東京町田ライオンズクラブ チャリティーゴルフ

東京町田 LC

<https://330a.jp/club/221115-2.html>

紅葉の美しい中、晴天に恵まれ、富士山が所々のホールで顔を見せる府中カントリークラブの素晴らしいコースでチャリティーゴルフコンペを行いました。今回は12R2Zの東京町田クレイン LC との初めての合同開催となり50名以上の会員やお仲間が集い楽しいひと時を過ごしました。

合同で開催することにより会員同士の和が更に広がったように思われます。チャリティー寄金は町田市内の奉仕団体への援助金として年末にお渡しする予定です。





第59回 OSEAL フォーラム (濟州島) 2022年11月24日-27日

<https://330a.jp/committee/20221130-1.html>

<https://330a.jp/committee/20221201-1.html>

第59回東洋・東南アジア・ライオンズ (OSEAL) フォーラムが11月24日から27日までの日程で韓国・濟州島にて開催されました。330-A 地区からは約50名が参加し開会式また各種セミナー、各国のレセプションなどに参加し、また国際交流を楽しみました。25日に開催された開会式は濟州島南部の中文リゾートにある濟州国際コンベンションセンターにおいて13時30分より約2時間行われ、参加した地区メンバーは各プログラムを熱心に視聴しました。

冒頭の民族舞踊のパフォーマンスにおいては開催地の濟州島の歴史・風土がわかりやすく表現されていました。開会式会場にて開催地の韓国に次ぐ参加人数の日本ライオンズメンバーはその存在感をアピールしました。

開会式当日の17時30分から本部ホテル「ホテルロッセ濟州」に隣接した「スイーツホテル」のバンケットルームを会場として、ガバナー晩餐会を開催しました。

地区メンバー約50名が出席し、遠方にもかかわらず当地に参集した出席者に対し増田ガバナー他、村木理事長 (一般社団法人日本ライオンズ) また吉本複合地区議長 (MD330) より労いの言葉や感謝の意が述べられました。

そして、石井元ガバナーの乾杯により会食、歓談がスタート。その後、女性ボーカルによる熱唱を楽しみました。

IR 国際大会委員会池田委員長からは来年7月開催のボストン国際大会での今回参加の皆様との再会をお願いする旨のスピーチがありました。

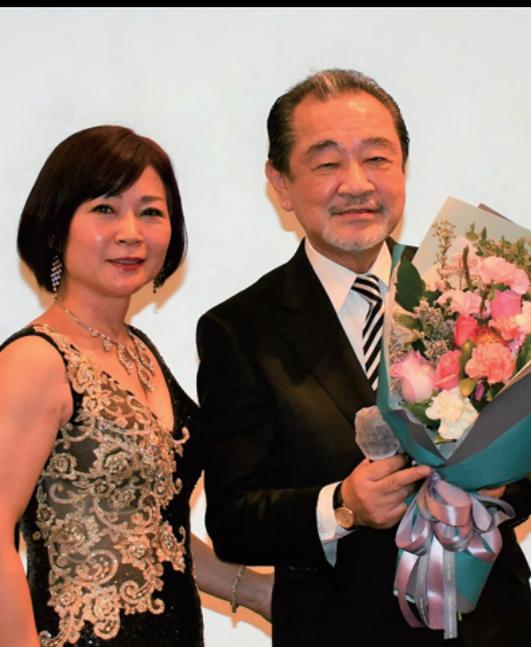
新型コロナの影響で2度に渡って延期された3年振りの OSEAL フォーラムは、4日間の日程を滞りなく進行し、盛況のうちに幕を閉じました。

IR 国際大会委員会



OSEAL

2022.11.24-27



Club Activity

2022.11.15

調布駅前広場で献血奉仕活動

東京調布 LC



<https://330a.jp/club/20221116-1.html>

11月15日(火)調布駅前で恒例の献血活動を行いました。朝から昼過ぎにかけてなかなか雨がやまず、冷たい北風に吹かれながら寒さをこらえて献血ご協力の呼びかけを行ったほか、受付の手伝いをし、献血頂いた方にはクラブで手配した神戸ドーナツ詰合せを贈呈しました。冷たい雨の為かいつもより人通りが少なく、血圧異常や血管収縮で採血できなかった方も多く、いつもより採血者数が少ない中ご協力頂きました75名の皆様に心より感謝申し上げます。



2022.11.15

ウクライナ料理教室×日本文化交流会

東京マリア LC



<https://330a.jp/club/20221119-2.html>

東京ウィル LC よりご縁を頂き、秋の味覚、カボチャを使ったウクライナの料理教室を開催し、東京マリア LC メンバー等 16 名が参加致しました。お料理が得意なウクライナのお母様から 5 品のご紹介、通訳のお嬢様がウクライナのお話を交えながら進行して下さいました。マリアメンバーは着物姿でお迎えしたり、手作りの日本料理を一品持ち寄りたりと双方の文化交流も出来、とても有意義な思い出深いひと時となりました。一日も早く平和な日々が戻りますようマリア一同、心よりお祈りしております。



2022.11.15・16

中央大学多摩キャンパス献血奉仕 白獅子会支部初奉仕活動

東京白門 LC

<https://330a.jp/club/20221119-1.html>



11月15日、16日の2日間、中央大学校内で献血活動を行いました。

東京白門 LC と白獅子会支部が中心となり、メンバーと赤十字奉仕団八王子支部の皆様と共に活動しました。

15日は小雨降る厳しい中での活動でしたが、体育会の SNS で呼びかけを行った結果、16日は前日を大きく上回る来場者がありました。2日間の合計では、90名が献血に協力していただきました。

学生支部のメンバーは初めての奉仕活動で戸惑いもありましたが、次回12月9日の献血奉仕に向けて準備を進めています。



2022.11.16

荒川クリーンエイド

東京赤羽 LC



<https://330a.jp/club/20221107-1.html>

11月16日(水)NPOと行政が協力した活動である荒川クリーンエイドに今期、赤羽 LC は初めて、例会振替として参加しました。荒川クリーンエイドは、荒川沿いの各地域で毎年開催されています。

当日は天気も良く気持ち良く川沿いのゴミ拾いを行いました。通常より、きれいな街づくりの習慣が根付いているためか目立つゴミはとて少なかったようです。活動後は例会として、330-A 地区環境保全委員会の方も交えて会食と反省会を行いました。大変に和やかに盛り上がったアクティビティ例会でした。



Club Activity

2022.11.19

カーブミラー清掃

東京吉祥寺 LC



<https://330a.jp/club/20221120-1.html>

11月19日(土)東京吉祥寺 LC は地元の学校の通学路を中心に、カーブミラーの清掃と点検を行いました。汚れて見えにくいカーブミラーは、雨天や夜間の運転中、ヒヤリとさせられることが多いですが、ピカピカに清掃したミラーは、やはり視界が大きく広がります。この清掃活動が交通事故の減少につながることを願っています。また当日は、吉祥寺駅付近の繁華街で吸い殻などの清掃も行いました。



2022.11.23

玉川交通安全ポスター展表彰式

東京玉川 LC



<https://330a.jp/club/20221125-1.html>

11月23日(水)、9月に玉川高島屋で開催された玉川交通安全ポスター展 小学生入賞者の表彰式が玉川警察署講堂にて執り行われました。玉川警察署の田川署長、交通安全協会の大原会長ならびに東京玉川 LC から馬場会長と野々幹事が出席し、金賞、銀賞、銅賞の入賞者に対して表彰を行いました。



2022.11.19

新宿駅・歌舞伎町周辺清掃活動

東京新宿 LC



<https://330a.jp/club/20221121-1.html>

重鎮から若手までの精鋭メンバー 14 名が参加して、新宿駅東口及び歌舞伎町周辺の清掃活動を行いました。駅前募金箱として大活躍のライオン像「みらいおん」も、歌舞伎町の初代ライオン像も、だいぶ疲弊していましたが、清掃後はピカピカに磨き上げられ、元気がみなぎっているように見えました。

なお、新宿駅東口の西城八十詩碑の上にそびえる伸び行く新宿「若葉の塔(芽)」は、当クラブのメンバーであった彫塑家 L 高村泰正の製作です。気持ちよい汗と共にメンバーの心も洗われる小春日和の一日でした。



2022.11.26

暮らしを豊かに～

自然と繋がる私だけのリース作り

東京マリア LC

<https://330a.jp/club/20220109-1.html>

東京マリア LC の活動の柱である環境保全として、日頃リパークリ活動を行っているあきる野市秋川から材料を集め、リース作り講習会を開催しました。ベースになる蕨や松ぼっくりは秋川で拾い、飾りには飲み終わったワインのコルク、お菓子の包み紙や紐を再利用し「自然と繋がる」「アップサイクル」をテーマにリース作りをしました。会場は森林浴をしているかのように、エバーグリーンの香りに包まれ、ご参加いただいた 20 名の方は、思い思いの素晴らしいリースを完成しました。



Club Activity

2022.11.27

献血アクティビティ

すずらん支部 紀尾井 LC

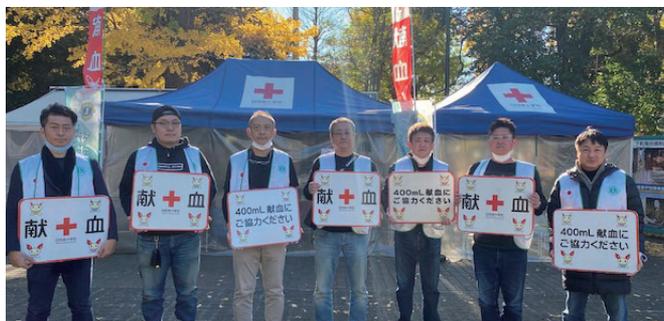


<https://330a.jp/club/20221202-2.html>

上野公園の入り口で、すずらん支部として初めての献血活動を行いました。

当日は好天の中、たくさんの方が休日を楽しみつつ、献血の呼びかけに足を止めて協力をして下さいました。

すずらん支部では、この献血の為に、オリジナルのボールペンを用意しました。当日参加できなかったメンバーが別途自身で献血をしたり、自社の社員を7人も連れて献血してくれたり、クラブを挙げての協力にチームワークの良さと団結の強さを実感しました。今後ますます活動の機会を増やしていきたいと考えています。



2022.12.03

世田谷警察署少年柔剣道昇級審査会 および清掃活動に参加

東京シティ LC <https://330a.jp/club/20221208-1.html>

2022年12月3日(土)世田谷警察署において少年柔剣道昇級審査会および清掃活動が行われ、東京シティ LC から会長 L 田村、前会長 L 向江、幹事 L 宮地の3名が参加しました。日頃の稽古の成果を発揮し、真剣に取り組む子供たちにパワーをもらいました。これからもささやかながら支援を続けていきたいと思ひます。



2022.12.01

ウクライナ支援料理教室 クリスマス例会開催

東京ウィル LC <https://330a.jp/club/20221220-2.html>

2022年12月1日(木)キッチンスペースパティオ麹町店にてウクライナ支援料理教室 & クリスマス例会を支部 HAKUHO TOKYO と合同で開催しました。

東京ウィル LC メンバー、支部 HAKUHO TOKYO のメンバー及び東京マリア LC より3名の参加と合わせて19名の参加となりました。

後片付けも皆様にご協力いただき、すべて時間内に無事終了しました。



2022.12.04

第21回東京都障害者ダンス大会 ドレミファダンスコンサート

東京表参道 LC <https://330a.jp/club/20221215-1.html>

2022年12月4日(日)、東大和市民体育館第1体育室にて「第21回東京都障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート」が、東京表参道 LC 念願の東京23区外で初めて開催されました。東大和 LC の皆様には、事前準備から当日まで多大な力をお貸し頂きました。また、地元の駄菓子屋さんや乳業からは全員にお菓子とジュースを頂くなどたくさんの方のご厚意と応援とボランティアがありました。数十名の入会希望者もでき、障害者の方が健常者と同じように幸せを感じて、楽しみながら生きることが叶えられ、改めて私たちの活動に誇りを感じました。



Club Activity

2022.12.09

中央大学多摩キャンパス 献血奉仕活動

東京白門 LC



<https://330a.jp/club/20221212-1.html>

12月9日、中央大学校舎内で献血が行われました。今回も白獅子会(学生支部)から6名が参加し、献血の呼びかけを行いました。晴天で暖かい陽ざしの中で行われ42名の協力があり、記念品としてウェットティッシュをさし上げました。午後から副学長の佐藤信行先生も激励に駆けつけました。また、330-A地区の広報誌の取材が行われ、白獅子会支部の大石優花会長がインタビューに応じていました。



2022.12.22

こども食堂支援活動

東京玉川 LC



<https://330a.jp/club/20221224-1.html>

12月22日(木)、東京玉川LCが支援しているこども食堂「こつな夜かふえ」でクリスマス会が開催されました。コロナ感染の関係で各10名を3つのシフトに分けて、食事を提供し、子供達は学生ボランティアのメンバーとゲームを楽しみました。東京玉川LCより障がい者の方が作ったクッキー詰合せ40箱とぬいぐるみサンタを30個贈呈しました。



2022.12.14

赤羽献血活動奉仕

東京赤羽 LC



<https://330a.jp/club/20221215-2.html>

東京赤羽 LC のメインアクティビティであります献血に協力活動をいたしました。12月にもなると、忙しさも増し、足を止めていただく事も難しいかと思われましたが、たくさんの方々にご協力を戴きました。献血申込 43名
200ml 6名
400ml 29名
献血にご協力下さいました皆様ありがとうございました。



2022.12.22

クリスマス家族例会

東京吉祥寺 LC



<https://330a.jp/club/20221229-1.html>

第422回12月第一例会 クリスマス家族例会を吉祥寺エクセルホテルにて開催いたしました。新装オープンになった会場で、おいしい食事をいただき、抽選会では多くの景品を、お子様を中心にビジター、同伴ご家族の皆様にごプレゼント。恒例のサンタさんに加えてトナカイさんも登場、アトラクションではアイドル「COLOR,z」も登場し、素敵な歌とダンスで盛り上げてくれました。



Cabinet・Committee

2022.10.24

助かる命を助けるために・来るべき大規模災害に備えて・
GST 緊急対策・アラート委員会



<https://330a.jp/committee/20221104-1.html>

10月24日(月)新宿区立新宿文化センターにて減災・防災対策講演会を開催いたしました。講師には国際レスキュー隊として世界34ヶ国で5,000件以上の災害現場救助活動と消防・防災事情を調査し、1,500名を超える人命救助に携わってこられたサニーカミヤ氏をお迎えして「助かる命を助けるために・来るべき大規模災害に備えて」というテーマでお話をお伺いしました。
当日はライオンズメンバーを中心にノンライオンも含めて160名を超える方々にご参加いただくことができました。



2022.11.22

第1回 LCIF 支援チャリティーゴルフ大会
LCIF 委員会



<https://330a.jp/committee/20221202-1.html>

11月22日(火)第1回 LCIF 支援チャリティーゴルフ大会をメイプルポイントゴルフクラブで開催致しました。満員御礼の約100名が参加しました。
多くのノンライオンの方や330-B地区のメンバーにもご参加頂きました。
ショートホールや受付に設置したドネーションボックスにも多額のご寄付をいただき寄付総額は100万円となりました。こちらは均等に割り(一人あたり約63ドルの見込み)、参加者名で LCIF に寄付させていただきます。



2022.08.20

第17回青少年英語スピーチコンテスト
「今こそ君の出番だ!チャレンジしよう!」



IR YCE 委員会 <https://330a.jp/committee/20221108-2.html>

2022年8月20日(土)に京王プラザホテル44階にて、第17回青少年英語スピーチコンテスト「今こそ君の出番だ!チャレンジしよう!」を開催いたしました。17回目となる今回は、①私の夢 ②環境問題について ③世界平和を考える、の三つのテーマから自分に合ったものを出場者が選び、発表するという形式でした。またコロナ禍ということもあり、会場とオンライン配信でのハイブリッド開催となりました。参加した高校生は各5分のスピーチ時間を余すことなく存分に活用し、自らの夢や社会問題について堂々と発表していました。



2023.01.02・03

増上寺献血活動
GST 献血・骨髄移植委員会



<https://330a.jp/committee/20230105-1.html>

芝増上寺にて GST 献血・骨髄移植委員会主催の献血活動が行われました。天気に恵まれ3年ぶりに参道横に屋台が並び、多くの参拝客でにぎわっていました。
1月2日は増田ガバナー、阿部第1副地区ガバナー、杉原第2副地区ガバナー、キャビネット幹事団の佐久間幹事、松尾会計、宇田事務局長ほか多くの皆様に参加して頂きました。ライオンズクラブのメンバーは2日78名、3日63名が参加され献血も約15名に協力して頂きました。献血された方には東京数寄屋橋ライオンズクラブからご提供いただいたもんじゃセットを記念品としてお渡ししました。



Cabinet・Committee

2022.12.01

高尾山 思いやりベンチの贈呈式



GST 環境保全委員会

<https://330a.jp/committee/20221206-1.html>

12月1日(木)12時より高尾山に於いて GST 環境保全委員会及び高尾山環境保全基金協会の共催で思いやりベンチの贈呈式が行われました。高尾山は 2020 年に都内で初めて日本遺産に認定され、国内外から注目されている都内随一の観光スポットです。紅葉で賑わう高尾山薬王院門前に、このたびベンチを寄贈した増田ガバナーや元ガバナーら 8 名と委員会・協力会関係者など総勢 22 名が集いました。そして、参加者一同で薬王院佐藤貫首様をお迎えし、8 基の思いやりベンチの目録を贈呈。貫首様から有難いお言葉も賜り、厳かな贈呈式となりました。その後、薬王院方丈殿にて精進料理を頂き懇親を深めました。帰路に着くころには全てのベンチが設置され高尾山を訪れる人たちの憩いの場となっていました。



緊急特別企画

花の330-A
復活

TOKYO
東京

異次元の
会員増強大作戦



異次元の会員増強大作戦

[作戦概要]

今期、増田ガバナーは**花の330-A復活**を目指し、LCIF及び会員増強に力を入れています。ライオンズクラブの魅力度を増すために**次世代リーダー育成塾**を創設し、**ZOOMによる専門家セミナー**を開催。また、一般向けの情報発信を強化するためにPR関連委員会は過去最大の3委員会(PRメディア制作委員会・PR SNS対策委員会・PR広報委員会)が設置されました。

現在、まさに**異次元の会員増強大作戦**が実施されているのです。

次に一般向けのPR作戦は次の通りです。

- 1) **ラジオ**では、4月、5月にニッポン放送にて、60分特番2本、スポットCM100本放送
- 2) **テレビ**では、4月の年次大会に併せて15秒スポットCMを17本放映
- 3) **LINE公式アカウント**でリアルタイムの情報発信
- 4) 同アカウントでライオンズクラブ**グルメガイド**を掲載
- 5) **公式YouTubeチャンネル**での動画配信
- 6) **公式ホームページ**による地区の活動報告発信
- 7) **地区ニュース**による情報発信

テレビ,ラジオ,LINE, YouTube,Webサイト,紙媒体とあらゆる媒体を使ったPR作戦です。

[作戦への参加要件]

次のような活動を行っているメンバーは既に一般向けのPR作戦に参加しています。

- 1→→ 今期のPR活動を**熟知**している
- 2→→ アクティビティを330-A地区公式サイトに**投稿**して媒体を活用している
- 3→→ LINE公式アカウントにお友だち**登録**をしている
- 4→→ この地区ニュースを読んでいる

なお、参加が不十分と思われるメンバーは以下の作戦に参加してください。

- 5→→ 背表紙の「**LINEお友だちQRカード**」を切り取って登録を促す
- 6→→ 背表紙の「**INVITATION**」を渡して、志のある人物をライオンズクラブへご招待する

[後方支援活動]

PR関連委員会は「会員増強特化型地区ニュース」を発行し**後方支援(広報支援)**致します。会員増強活動ツールとしてご利用ください。

※「異次元の会員増強大作戦」は第3号地区ニュースの会員増強特集記事のタイトルです。
キャビネット公式の名称ではありませんのでご了承ください。



編集後記

2023年1回目の地区ニュースです。年末年始各メンバーが多忙の中、委員長のリーダーシップのもと、土日の朝からzoomを活用するなどして、なんとか発行まで辿り着くことができました。その中で様々な意見を柔軟に取り入れて、ユニークな地区ニュースに仕上がったと思います。表紙や裏表紙は思い切ったデザインを採用し、若いメンバーの入会促進やデジタル化について、メッセージを込めました。特に裏表紙のLINEのお友達登録ができるカード、新会員候補の方へのインビテーションカードは、ぜひご活用いただけますととても嬉しいです。

2023年も様々な出来事が待ち構えていると思いますが、330-Aの皆様で力を合わせてピョンピョンと乗り越えていきましょう！

今年も皆様に楽しんでいただける地区ニュースを作っていきたいと思います。

今後ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集長 PR 広報委員会 L 堀江昇太

今期は毎号委員会メンバーから編集長を選出しています。本号は堀江編集長のもと委員会メンバーの皆様の柔軟なアイデアでアグレッシブなものとなりました。表紙は Talos104 というサンフランシスコ在住のビジュアルアーティストが描いた書初めをする擬人化したウサギです。企業のブランディングからデジタルアート作品まで幅広く手掛ける作家で、日本の様々な文化にも精通しているので、委員会メンバーのアイデアが上手に表現されているのではないのでしょうか。また、背表紙は地区ニュース初となる切り取り型のLINEお友達カードとライオンズクラブへの招待状です。こちらもメンバーのアイデアが凝縮された実用的なものとなったと思います。是非、背表紙全体を切り取ったうえで、それぞれのカードを切り離してご活用頂ければと思います。

共同編集長 PR 広報委員会 委員長 L 桂 太郎

2022-23 PR チーム

L 坪谷 茂 PR コーディネーター 東京平成 LC
L 阿部 清彦 PR 副コーディネーター 東京新宿 LC
L 坂本 純一 PR 副コーディネーター 東京三鷹 LC

・PR 広報委員会
L 桂 太郎 委員長 東京世田谷 LC
L 茂岡 幹弥 副委員長 東京白門 LC
L 三代 勝之 副委員長 東京スバル LC
L 堀江 昇太 委員 東京柳橋 LC
L 小倉 左羅 委員 東京ウィル LC
L 小泉 邦明 委員 東京飯田橋 LC
L 石川 ナオミ 委員 東京さざそう LC
L 鈴木 郁朗 委員 東京新宿 LC
L 荒牧 知子 アドバイザー 東京 LC
L 佐藤 聖士 アドバイザー 東京尾張町 LC
L 向井 忠義 アドバイザー 東京小金井 LC
L 新井 大介 オブザーバー 東京新宿 LC

・PR メディア制作委員会
L 吉岡 晋 委員長 東京けやき LC
L 河田 淳一 副委員長 東京平成 LC
L 藤田 紘子 副委員長 東京ヒルズ LC
L 赤尾 嘉晃 副委員長 東京豊新 LC
L 吉田 拓矢 委員 東京蒼天 LC
L 海沼 潤 委員 東京柳橋 LC

・PR SNS対策委員会
L 小野 健志 委員長 東京ピース LC
L 大和田 博道 副委員長 東京葵 LC 魁支部
L 石橋 卓磨 副委員長 東京稲門 LC
L 石田 賢 副委員長 東京三鷹 LC
L 山本 元気 委員 東京調布 LC
L 坪坂 有純 アドバイザー 東京新宿 LC



電子版

ライオンズ国際協会 330-A地区 ライオンズニュース VOL3		発行人:PR広報委員会委員長 L 桂 太郎
発行:2023年01月	202300125	Copyright 2022-23 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.



[上] LINE公式アカウントQRコード

[中] ライオンズクラブへの招待状

[下] ライオンズクラブへの招待状（フリー）



様

Lions Clubs International

世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブへの招待状です。
奉仕活動があなたの人生をより豊かにすることをお約束致します。

L

※入会には所定の審査がございます。



Lions Clubs International



✂ [上] LINE公式アカウントQRコード

✂ [下] ライオンズクラブへの招待状

INVITATION



Lions Clubs International



Lions Clubs International

INVITATION